

視察（研修）報告書

平成31年2月12日

府中市議会議長 様

会派名又は 創生会

議員名

日 時	平成31年2月4日（月）
視察（研修）先	愛媛県喜多郡内子町
視察（研修）項目	内子座視察
参 加 者	会派議員6名
視察（研修）内容	<p>(1) 計画策定の背景と経過 大正4年に内子座創設後、映画館、地方劇場等に利用された。その後、内山商工会館に転用され映画、劇場等として活用された。昭和57年内山商工会より内子町へ寄附され内子町指定有形文化財となる。昭和60年内子座修理復元事業完成。平成27年度国の重要文化財に指定される。</p> <p>(2) 市内事業所について 内子町役場 町並・地域振興課にて管理 担当林課長 内子町 議長 山本 徹</p> <p>(3) 具体的な取り組み事例 昭和60年柿落とし後、桂米朝、立川志の輔等落語界の独演会、有名人の講演会、音楽家コンサート、その他ダンス公演等の取り組みがある。内子座年間利用回数は平成29年度では23回、入館者数31,846人、ピーク時は平成16年度56回で入館者数74,113人（野村萬斎狂言公演）。</p> <p>(4) 他市や関係団体との連携の取り組み 全国劇場会への連携で各地の劇場保存・管理について情報交換をしている。</p> <p>(5) 市民への理解度 内子町地域住民の演芸、コンサート、発表会等で利用して住民一体となって支援している。</p> <p>(6) その他</p>

<p>所 感</p>	<p>内子座の建物を通して内子の歴史と文化を知るとともに、音楽や演劇等の催しを実施することで町民文化の向上に役立つ拠点として管理運営をしている事が理解できた。その他の財源を確保するための対策として入場料を徴収することや、劇場として文化的興行を行うことで使用料を徴収するなどして維持管理を行うことは劇場運営管理をすることでは重要な事として理解できた。今回の視察で内子座の管理費は平成 29 年度 9,960,8111 円として報告された。現在の内子座経常収支では黒字が計上されていることで証明されている。今後の課題としては耐震補強を含めた大規模改修が予定されていて新たな委員会を設置されるようである。現在は行政の管理運営であるが今後は観光協会への管理移管を予定している。また、近年新たな宿泊施設として AZ・伊予鉄道開発のホテルが設立されて内子町の観光事業の発展に寄与している。内子町は観光地としての基盤整備として宿泊、駐車場、飲食が施設されている。今後府中市でもこれが翁座の劇場運営の基礎となることが大切である。</p>
------------	--